

SDGsをもっと身近に感じてもらうため、1月に発足した「市SDGs推進協議会」加入団体の取り組みを紹介します。

☎ SDGs推進室 (内線 421)



市森林環境教育推進協議会 (えーな木育クラブ)

令和5年5月23日現在で74人の会員が参加する市民団体で、市民が地域の森林環境を理解し、愛着を持つことを目的に、木育を推進しています。

これまでのSDGsの取り組み

こども園で木育教室

森へ散歩に行くなど遊びを通して森の楽しさや大切さを学びます。



ファーストマイスプーン

新生児の4カ月児健診で、市内の木で作ったスプーンを渡しています。恵那に生まれた「えなっ宝」へ、森からファースト・マイ・スプーンのプレゼント！



森遊び

森林の中で、自然観察やネイチャーゲームをします。森を歩けば、五感全開！森の宝を見つけながら歩きます。



関連するSDGsの目標

「ゼロカーボンシティえな」の実現に向けて、積極的に木育の推進活動を行います。



61

公共交通の総合案内窓口「交通コンシェルジュ」ももっと便利に



▲交通コンシェルジュウェブサイト

みんなは、市内のバスの時刻や乗り方、バスがどの道を通ってどこに行くのか知ってるかな？公共交通のことで分からないことがあったら昨年10月からスタートした「交通コンシェルジュ」を利用してみてほしいんだな。交通コンシェルジュは、電話による案内と、ウェブサイトによる案内の二つの方法があるんだよ。電話案内では、オペレーターがバスや鉄道、タクシーなどを活用した目的地までの行き方を教えてくれるよ。エーナも電話の様子を見学してみたけど、丁寧に説明してくれて、市内の観光地も教えてくれたんだな！分かりやすく、助かるね。専用ダイヤルは、5412010



▲電話で案内するんだな

で、午前9時から午後5時まで受け付けているよ。ウェブサイト案内では、バスの時刻の確認や目的地までの行き方の検索、デマンド交通よやく号の予約、一日フリー乗車券の購入だけでなく、バスがどこを走っているかを確認できるよ。お出かけする時にとっても便利なんだね。乗り方や予約の方法が分からなかったら、気軽に交通コンシェルジュに問い合わせせてね。みんなにもぜひ公共交通を利用して、たくさんお出かけしてほしいんだな！



▲ウェブサイトを確認できるよ

☎ 交通政策課 (内線 424)

恵那暮らしビジネスサポートセンター だより

- 定年後の働き方を知りたい...
- 生涯現役で頑張りたい！
- 社会のために役に立ちたい！

シニア向け 再就職相談会を開催

予約必要 相談無料

- 日時** 6月8日(木)、7月13日(木)、8月10日(木) 各日午前9時半～11時 ※相談会終了後、個別相談もできます
- 場所** 恵那暮らしビジネスサポートセンター
- 内容** ①シニアワークステーションとは②働き方と生活設計を考える③就労活動に向けて④市内の労働事情
- 主催** 恵那暮らしビジネスサポートセンター
- 共催** ハローワーク恵那、市シルバー人材センター

随時受付：定年後の働き方や履歴書の書き方、面接のアドバイス、市内の求人情報などを相談できます (予約制)。

☎ 恵那暮らしビジネスサポートセンター 恵那市大井町206-5 ☎ 26-2266 ✉ info@enalifebizsupport.jp
営業日 月～土曜日 (午前9時～午後5時) 定休日 日曜日、祝日、年末年始



物知り先生のふるさと情報 (三好学博士執筆)

「孤高の植物学者」第三話 涙の別れ

三宅勝義さん (東野)



▲二人の弟と母

明治維新の世、岩村藩の殿様も岩村へ戻ることになり、御側衆である学の父もお供をしました。学の回顧録には「夜中に確井峠を逃げるように越えた」とあります。まるで戦いに取れて逃げるようであったと想像できます。6歳の学は、藩校の知新館で勉学に励みました。父の友衛は「田機隊」という藩の軍長を務めており、忙しい中でも充実した生活を送っていました。しかし、学が10歳の時に病気で急死しました。ここから一家の悲劇が始まります。主が亡くなったため、藩の屋敷から出され、殿町の小さな家に引っ越すことになり、給金も大幅に減額されました。近くに住む叔父の小林制からの援助もあったと思われすが、十分ではなく、母一人と子三人が生活していくには、口減らしの選択しかありませんでした。弟たちはまだ幼子だったので、学が家を出ることになりました。縁があって、三宅(福井県)の近くの西光寺で住職をしていました。主が亡くなったため、藩の屋敷から出され、殿町の小さな家に引っ越すことになり、給金も大幅に減額されました。近くに住む叔父の小林制からの援助もあったと思われすが、十分ではなく、母一人と子三人が生活していくには、口減らしの選択しかありませんでした。弟たちはまだ幼子だったので、学が家を出ることになりました。縁があって、三宅(福井県)の近くの西光寺で住職をしていました。今、朝の連続ドラマで話題の植物学者である牧野富太郎も、幼少期に病気で両親を亡くしており、二人とも幼い時に悲しい思いをしています。西光寺での学は、寺の「小僧」で、庭掃除や廊下の雑巾がけなどの雑用をしました。それでも、地元の小学校に通わせてもらいました。頭の良いい子だったので、学校は寺と比べて楽しかったと思われれます。学の新たな人生が、ここから始まりました。